— CASE STUDY —

管理が煩雑だったツールをまとめて、連絡先を一括管理。

業務効率の高いコミュニケーションポータルを構築

ユニアデックス株式会社

業種	IT
従業員数	2,456名
ご担当者	執行役員CIO 兼 エクセレントサービス開発本部長 須貝達也氏 エクセレントサービス開発本部 DXシステム改革推進部長 高畑浩史氏 エクセレントサービス開発本部DXシステム改革推進部 改革プロジェクト企画推進室 導入担当 大塚祐樹氏

課題・背景	→	効果
複数のコミュニケーションツール管理が煩雑だった		社内で利用している3つのコミュニケーションツールを一括管理
連絡先の検索に不便を感じていた		社員を氏名·部署名だけでなく担当業務でも検索可能に
外出先で電話番号が分からず電話できないことがあった		着信表示により、外出時でも連絡がしやすくなった

PHONE APPLI

複数のコミュニケーションツール管理が煩雑だった

同社は電話帳に関して2つの課題を抱えていた。1つ目は、コミュニケーションツールの管理が煩雑だったことだ。原因は、連絡を取る相手によってMicrosoft Teams・Cisco Webex・Workplaceの3つのツールを使い分けていたことにあった。3つのツールでそれぞれ連絡先を管理していたため、どうしても煩雑になってしまう。2つ目は、名刺の情報を電話帳に反映させるのに時間がかかっていたことだ。原因は、取引先と名刺交換をした際、名刺管理ツールのSansanへ登録することに加えて、相手方の名前や電話番号を手打ちで従来の電話帳へ反映させていたことにあった。

導入後に得られた4つの効果

同社がPHONE APPLI PEOPLEの導入後に得られた主な効果として以下の4つが挙げられる。

1つ目の効果は、PHONE APPLI PEOPLEをコミュニケーションポータルとして活用できたこと。同社では社内外で連絡をとる場合、電話・メール・Microsoft Teams・Cisco Webex・Workplaceといったツールを使用している。複数のツールのうち、どの手段で連絡するにしても、まずはPHONE APPLI PEOPLEで相手を検索するようになった。相手が見つかったら、各ツールへワンタッチで移行し、起動可能なため、非常に便利だと社内で好評のようだ。

また、社内に知り合いの少ない中途入社の社員が、担当業務から検索して担当者を見つけられたという声があった。従来の電話帳では“人”を起点に連絡先を探すことはできても、“業務”を起点に探すことは難しかった。その点、PHONE APPLI PEOPLEでは担当業務や組織ツリーからの検索もできるので便利だという。

2つ目の効果は、名刺情報を登録する時間を短縮できたこと。PHONE APPLI PEOPLEをSansanと連携させることで、名刺をスキャンするだけで相手の名前や所属、連絡先などを一括で登録できるようになった。これまで手作業でおこなっていた電話帳への登録作業は、かなり時間が短縮された。

Microsoft Teams連携イメージ画面（スマートフォン）
※サンプル画像です

3つ目の効果は、着信相手の名前を確認できるようになったこと。着信表示が確認できるようになったことで、会議中に電話がかかってきた際に、表示された着信相手の名前から“急ぎの要件だ”ということも判別できる。

4つ目の効果は、外出先でも連絡がスムーズになったこと。従来は紛失時の情報漏洩を考慮し、端末内には連絡先を登録していない社員もいたため、外出先で番号が分からず電話できないことがあった。PHONE APPLI PEOPLE導入後は、社内の誰かが登録していれば外出先でもすぐに連絡先が分かるため、重宝している。

Web 電話帳クラウドサービス

PHONE APPLI PEOPLE（旧：連絡とれるくん）

人の価値を高め、生産性を向上させる“人”中心のクラウドサービスです。
キーワードやスキルで社内の専門家を、名刺データからお客様を簡単に探しだし、最適なコミュニケーション（チャット、メール、電話、Web会議）がとれ、コラボレーションを活性化させます。大手企業を中心に150万ライセンス活用されています。

Web電話帳クラウドサービス
7年連続国内市場シェア
No.1※

※出典：MM総研「Web 統合電話帳アプリケーションの市場規模調査」（2020年7月）

フォンアプリ | https://phoneappli.net/product/service/papeople/